

ちょっとひと工夫

NO.12

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

新たな家庭学習モデル創出事業の成果

モデル校の取組から明らかになってきた改善のポイント <取組編⑤>

- A 授業と関連付けた家庭学習にする。
- B 家庭学習の内容について子どもたちが確実に理解したかを評価し、補充指導を行う。
- C 子どもたちが自分で見つけた課題に取り組む家庭学習にもチャレンジさせる。
- D 小中連携して9年間を見通して家庭学習を考える。
- E 子どもたちとともに家庭学習の内容や方法を考え、見直しをしていく。

<< 具体的な取組例 >>

- ・「生徒が自分で計画を立てて家庭学習に取り組む」週間を設定。5教科全ての教科の家庭学習の内容について、4段階程度に分けた課題を提示。課題をまとめた冊子を参考に1週間の家庭学習の計画を立てた上で実践。
- ・自主学習のメニューを示し、その中から自分に必要と思われるものを計画的に行うことができるようにする。
〔国語のメニュー例；授業内容の要約、新聞の社説の要約、参考書を使用した文法や読解等のテスト対策〕
- ・小1から中3までどの学年でも自主学習に取り組むよう、個の状況に応じて具体的なアドバイスを実施。

9年間を見通した家庭学習の手引きにおける自主学習例

小1・2年
読書、調べ学習（家の人に聞く）

小3・4年
読書、漢検などに挑戦、調べ学習

小5・6年
新聞を読む、予習（授業の内容）

中1・2・3年
予習・復習、調べ学習、漢検や英検に挑戦

※ 家庭学習の改善を進めている学校の工夫を紹介しています。参考にご覧ください。

改善のポイント C, D型

職員の意識統一を図りながら小中連携した自主学習の取組を始めているS小学校

○改善の取組の具体例

- ・同じ中学校区の中学校で取り組み始めている自主学習ノートを、高学年で取り組むよう準備。
- ・中学校の自主学習ノートを小学校で回覧し、児童の意識を高めたり、内容を参考にさせたりするよう計画。
- ・職員が意識統一して、同じ地域の子どもたちを育てる形をつくるため、9年間を見通した家庭学習のあり方を検討。

改善のポイント A, B型

生徒が取り組んだ家庭学習の内容が身に付いたかを評価しているT中学校

○改善の取組の具体例

- ・授業内容と関連したプリントを配布。生徒から提出されたものを教科担任が採点。解説やコメントを記入して返却。
 - ・教科書や問題集等の範囲を指定し、自分で決めた内容に取り組む課題も設定。
- #### ○今後検討すること
- ・生徒の取組をどう評価し、やる気をいかに引き出すかを検討。
 - ・現在の「家庭学習の手引き」をより分かりやすいものにするよう検討。